

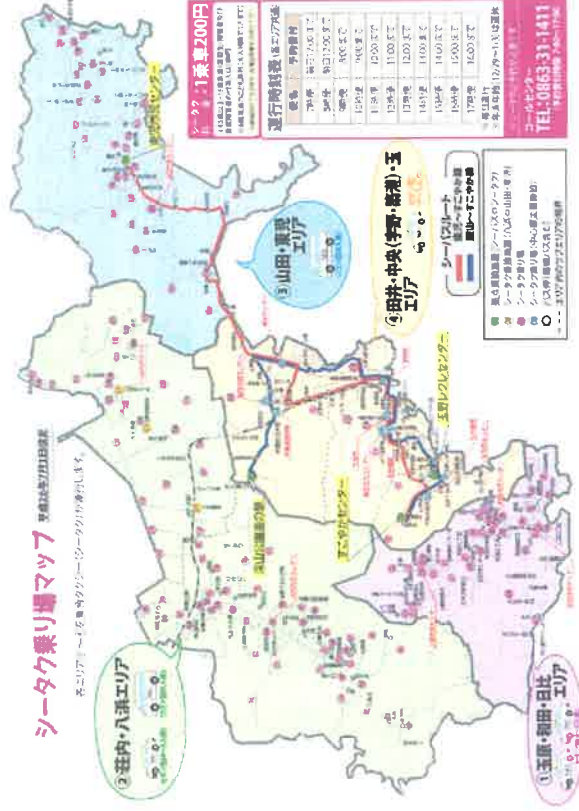
乗合タクシー導入事例135

玉野市乗合タクシー「シートタク」の運行 (岡山県玉野市)

- ・高齢化の進展やマイカーの普及等により、平成11年から運行していたコミュニティバス(シーバス)は、平成15年をピークに利用者数の減少が続いていた。
- ・こうした状況の中、コミュニティバス(シーバス)の運行の見直しに加え、新たに乗合タクシー(シートタク)を平成24年7月に導入し、地域公共交通ネットワークの再編を行った。
- ・再編にあたっては、シーバスを地域の拠点間を結ぶルートに見直し、また、シーバスへの接続に配慮したデマンド運行を行うシートタクを新たに導入することで、シーバス・シータクの役割分担の明確化と運行の利便性・効率性の向上を図った。

【運行状況】

- ・運行主体:市内を4エリアに分割し、市内タクシー事業者3社が運行(運行補助)
- ・利用者:だれでも利用可能(市内登録者制度あり)
- ・運賃:200円(65歳以上・16歳未満・高校生・障害者及び重度障害者の付添人は100円)
- ・運行形態:66便/日(11便×6台)、7時便～17時便
- ・運行車両:6台(タクシー事業者所有)エリアに応じセダン型4台、ワゴン型2台
- ・利用者が多く、基本車両で対応できない時間帯は、エリア毎に増便を運行
- ・公共交通による人口カバー率が7.3%向上するとともに、周辺部から市中心部への利便性(運行頻度・速達性)が向上



取組のポイント

- 交通モードの役割分担の明確化
- 設定した乗り場間を運行するデマンド型乗合タクシー

照会先：玉野市総務部総務課
電話 0863-32-5547